

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2020-001
2.研究課題名	会話場面の発話文に用いられる言語表現と個人の自閉スペクトラム傾向の関係
3.研究期間	令和2年4月（部局長承認後）～ 令和6年3月31日
4.研究の概要	<p>意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。） 言語を介して情報を適切に伝えるためには、文脈や会話相手の心的状態に応じて、用いる言語表現を選択する必要がある。しかし、同じ言語表現であっても、定型発達者と自閉症スペクトラム者で解釈過程が異なる。また、定型発達者であっても、その解釈過程には自閉スペクトラム傾向に応じた個人差がある（Kiyama, et al. 2018）。話者の伝達情報と聞き手の受け取る情報との間のギャップを解消する契機とするため、本申請課題は、様々な会話場面での発話文に用いる言語表現の違いと個人特性の関係を明らかにすることを目的とする。</p> <p>第三次産業の拡大に伴う社会の多様化・国際化が進む現代社会において、特性の異なる人間同士のコミュニケーションが必要な場面が増えている。本申請課題で得られた知見により、個人特性の異なる者同士が言語を介して適切に情報を伝え合うための助けとなることが期待できる。</p>
	<p>方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと） 東北大学に在籍する健常な日本語母語話者（20～35歳）を対象に行う。擬似会話場面における文産出課題を行い、発話文における各言語表現について、個人の自閉スペクトラム傾向との相関関係の分析、他機関で取得した自閉症スペクトラム者のデータとの比較を行う。参加者の自閉スペクトラム傾向を把握するために、標準化された言語・認知・性格特性に関わる検査を実施する。参加者には、謝礼として1,000円を支払う。</p>
	<p>問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とする医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）</p>

（紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。）